

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 5 月 14 日 (2020.5.14)

【公表番号】特表 2019-518003 (P2019-518003A)

【公表日】令和 1 年 6 月 27 日 (2019.6.27)

【年通号数】公開・登録公報 2019-025

【出願番号】特願 2018-555141 (P2018-555141)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/20 (2006.01)

A 6 1 K 38/16 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 K 35/15 (2015.01)

A 6 1 K 35/76 (2015.01)

A 6 1 K 35/74 (2015.01)

C 1 2 N 15/86 (2006.01)

C 1 2 N 15/74 (2006.01)

C 1 2 N 15/864 (2006.01)

C 1 2 N 15/867 (2006.01)

C 0 7 K 14/54 (2006.01)

C 0 7 K 14/715 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 38/20

A 6 1 K 38/16

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 29/00

A 6 1 K 35/15 Z

A 6 1 K 35/76

A 6 1 K 35/74

C 1 2 N 15/86 Z

C 1 2 N 15/74 Z

C 1 2 N 15/864 1 0 0 Z

C 1 2 N 15/867 Z

C 0 7 K 14/54

C 0 7 K 14/715

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 4 月 1 日 (2020.4.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

対象における炎症を処置するための治療用組成物であって、

インターロイキン 10 (I L - 1 0) ペプチドおよび 1 型インターロイキン 1 0 受容体 (I L - 1 0 R 1) ペプチドのコード領域を含む 1 つまたは複数の細菌、ウイルス、ファージ、コスミドまたは人工染色体ベクターを含み、

対象における抗原提示細胞中で、前記１つまたは複数のベクターから、インターロイキン１０（ＩＬ－１０）ペプチドおよび１型インターロイキン１０受容体（ＩＬ－１０Ｒ１）ペプチドが発現される、組成物。

【請求項２】

前記抗原提示細胞中で発現された前記ＩＬ－１０ペプチドが、前記ＩＬ－１０ペプチドのヒンジ領域中に突然変異を含む、請求項１に記載の組成物。

【請求項３】

前記ＩＬ－１０ペプチドが、ＩＬ－１０野生型配列の１２９位のフェニルアラニンがセリン、スレオニン、アラニンまたはシステインで置き換えられている突然変異を含む、請求項２に記載の組成物。

【請求項４】

前記野生型配列の１２９位のフェニルアラニンがセリンで置き換えられている、請求項３に記載の組成物。

【請求項５】

前記ＩＬ－１０およびＩＬ－１０Ｒ１が単一のベクターから発現される、請求項１に記載の組成物。

【請求項６】

前記ベクターがウイルスベクターである、請求項５に記載の組成物。

【請求項７】

前記ウイルスベクターがアデノ随伴ウイルスベクターである、請求項６に記載の組成物。

【請求項８】

前記ウイルスベクターがレンチウイルスベクターである、請求項６に記載の組成物。

【請求項９】

前記ＩＬ－１０およびＩＬ－１０Ｒ１のコード配列が、単一のｍＲＮＡとして転写される、請求項５に記載の組成物。

【請求項１０】

前記ベクターが、前記ＩＬ－１０および前記ＩＬ－１０Ｒ１のコード配列の間に内部リボソーム進入部位のコード配列をさらに含む、請求項９に記載の組成物。

【請求項１１】

前記ベクターが、前記ＩＬ－１０およびＩＬ－１０Ｒ１のコード配列の間に自己切断型２αペプチドのコード配列をさらに含む、請求項９に記載の組成物。

【請求項１２】

前記炎症が神経障害性または慢性疼痛により引き起こされ、前記１つまたは複数のベクターが髄腔内注射により送達される、請求項１に記載の組成物。

【請求項１３】

前記炎症がＭＳにより引き起こされ、前記１つまたは複数のベクターが髄腔内注射により送達される、請求項１に記載の組成物。

【請求項１４】

前記炎症が自己免疫疾患により引き起こされ、前記１つまたは複数のベクターが髄腔内注射により送達される、請求項１に記載の組成物。

【請求項１５】

前記炎症が関節内に位置し、前記１つまたは複数のベクターが関節内注射により送達される、請求項１に記載の組成物。

【請求項１６】

前記炎症が神経炎症である、請求項１に記載の組成物。

【請求項１７】

前記抗原提示細胞が、単芽球、単球、星状細胞、オリゴデンドロサイト、ミクログリア、マクロファージ、Ｂ細胞、樹状細胞、泡沫細胞、リンパ芽球およびＢリンパ球の群から選択される、請求項１に記載の組成物。

【請求項 18】

前記抗原提示細胞が、処置される対象から除去され、*in vitro*で前記1つまたは複数のベクターを用いて形質導入され、前記対象に投与して戻される、請求項17に記載の組成物。

【請求項 19】

前記抗原提示細胞が、前記1つまたは複数のベクターを用いて安定に形質転換され、培養中に維持される、請求項17に記載の組成物。

【請求項 20】

インターロイキン10 (IL - 10) および1型インターロイキン10受容体 (IL - 10R1) のコード領域を含む、単一のウイルスまたは細菌発現ベクター。

【請求項 21】

前記IL - 10およびIL - 10R1ペプチドの転写を推進する単一のプロモーターを含むウイルスベクターであり、前記IL - 10ペプチドのコード領域および前記IL - 10R1ペプチドのコード領域の間に置かれた自己切断型2aペプチドをさらに含む、請求項20に記載の単一の発現ベクター。